

平成27年度 学校評価実施報告書

3 2回目評価

学校名( 京都市立二条中学校 )

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価		
・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理						評価日	平成28年2月16日	評価日	平成28年3月8日	
						評価者・組織	学校評価委員会	評価者	学校評議員	
	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策	
1	確かな学力	自主的な学習/学習習慣の定着	朝学習、再テストの実施	家庭学習を自主的に行っていますか。	行っている、だいたい行っているで1年74%、2年53%、3年67%（生徒）	⇒	授業に対する集中力は良好である。家庭学習については、向上がみられるものの、更なる取り組みが必要である。  読書については、朝読書等の取り組みも実践しているが、日々の生活の中に「読書」が定着していない。図書館の利用もさらに促進していきたい。  学習の手引きを有効に活用していく。	⇒	生徒が家庭学習しやすい環境をつくるよう、小中の連携と保護者の協力の呼びかけをしていく。  地域全体で、あいさつをすることが定着してきている。	PTAや地生連等の団体から、教育活動がより充実するように支援をする。  ボランティアや外部の人材の活用を積極的に取り入れていく。
		言語活動の充実	支部研修会への参加 校内授業研修会の実施	授業に集中できていますか。	集中している、だいたい集中しているで1年96%、2年87%、3年93%（生徒）					
		読書の習慣化	新刊図書呼びかけ 朝読書の実施	1日あたりどれくらい読書を読みますか。	30分以上で、29.9%（生徒）					
2	豊かな心	規範意識の向上と行動化	非行防止教室の実施 薬物乱用防止教室の実施	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	思っている、どちらかというと思っているで95.9%（生徒）	⇒	一人ひとりを大切にした人権教育を展開できている。  個別の指導案件に対しても、必要に応じて関係機関と連携しきちんと指導できている。  規範意識や自尊感情等に対する意識は、全国平均を大きく上回っている。「二条中学校の人権文化」をしっかり踏襲していきたい。	⇒	学校以外の地域や関係機関とも連携できている。  保護者、地域、学校が一体となって生徒を育成することを再確認する。	パトロールや日頃の声かけを積極的に行う。 地域での情報を学校にもこまめに入れる。
		自律的判断を要する場面設定	生徒会から服装やベル着の呼びかけ	学校の規則を守っていますか。	守っている、どちらかという守っているで98.9%（生徒）					
		人権学習の充実	実態に応じた人権学習	人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか。 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	思っている、どちらかというと思っているで93.8% 思っている、どちらかというと思っているで95.8%（生徒）					
3	健やかな体	規則正しい生活	規則正しい生活の呼びかけ、あいさつ運動 給食試食会を実施	毎日朝食を食べていますか。毎日同じくらいの時刻に寝て起きていますか。	朝食食べている、どちらかという食べているで90.7% 同じ時刻に寝る71.1% 同じ時刻に起きる87.6%（生徒）	⇒	家庭・地域の協力もあり、8割以上の生徒が規則正しい生活ができている。  保健だよりなどを通じて健康に対する意識も高まってきた。HPにもアップしている。  給食試食会の実施により食育の大切さを保護者に啓発することができ、給食率は全市平均を上回っている。	⇒	文化祭等の行事の参観を通して、とても良好との評価である。  交通安全に対する意識を高める。  運動部活動での全国的な活躍が見られた。	給食試食会等を継続し、保護者にも食育の重要性を呼びかける。
		健康への意識高揚	保険だよりの発行 助産師さんによる出前授業	性教育講演会等の感想文 生徒委員会による健康チェック	健康への意識が高まった。					
4	独自の取組	研修会の充実	校内授業研修会 総合育成支援教育研修会 教科会、等	定例化および自主研修の充実	基礎基本的な内容を確実に身につけさせることができたか。できた、ほぼできた97%（教職員）	⇒	個々の生徒の背景や困りを正確に捉え、迅速な指導を行う必要がある。  保幼小中連携も様々な行事等を通して計画的に実行できた。オープンスクール等の取り組みを通して、生徒自身も先輩としての自覚が芽生え、達成感を感じることができた。	⇒	とても生徒が落ち着いた環境の中で学校生活を送っている。  ホームページや学校だよりは、年々充実し、学校の様子がよくわかる。	お月見コンサート等、地域での発表の機会を通して、生徒が活躍できる場を増やし、地域をあげて支援していく。  PTAのメール配信システムの登録を100%に近づける。
		保幼小中高の連携	小中合同研修会 絵本の読み聞かせ 部活動交流 オープンスクール 行事の交流 お月見コンサート 他	オープンスクールや絵本の読み聞かせ等の感想文 他	中学校生活に対する不安が薄れ、意欲や憧れを持つ児童が増えた。					
		保護者、地域との連携	参観、PTA活動、家庭教育講座、 高校や企業との連携（出前授業）	家の人は、授業参観や行事に来ますか。	よく来る、時々くる72.0%（保護者）					
		情報発信の充実	HP発信、学年学級だよりの発行	学校HPのアクセス数	アクセス47,801件（年間） （平均134.7件/日）					

4 総括・次年度の課題

- ・わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業の推進。
- ・教育活動全体を通した道徳教育の推進。
- ・支援を要する生徒に対してのきめ細やかな配慮と指導。
- ・校種間の組織的な連携。
- ・社会や地域での問題を察知し、生徒の命を守りきる指導。